



日本薬局方  
オキシドール

Oxydol

500mL

販売元

東豊薬品株式会社

東京都葛飾区西新小岩4-15-3

製造販売元 小堺製薬株式会社

\*\*東京都墨田区両国4-36-9

\*2012年4月 第7版製造販売業者の住所変更に伴う改訂

\*2007年11月 第6版改訂

《貯法》保存条件：遮光して、30℃以下で保存する。 容器：気密容器

\*販売名 オキシドール「コザカイ・M」

【禁忌】(次の部位には使用しないこと)

瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ込むおそれのある部位

\*\*【組成・性状】

本品は過酸化水素(H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>:34.01)2.5~3.5%を含む。本品は添加物としてエタノール、フェナセチンを含む。本品は無色透明の液で、においはないが、又はオゾンようのにおいがある。本品を放置するか、又は強く振り動かすとき、徐々に分解する。本品は酸化剤又は還元剤と接触するとき、速やかに分解する。本品はアルカリ性にするとき、激しく泡だって分解する。本品は光によって変化する。

【効能又は効果】

- 1) 創傷・潰瘍の殺菌・消毒
- 2) 外耳・中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃炎などの粘膜の炎症
- 3) 口腔粘膜の消毒、齦窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄、口内炎の洗口

【用法及び用量】

- 1) 創傷・潰瘍 原液のままあるいは2~3倍希釈して塗布・洗浄する。
- 2) 耳鼻咽喉 原液のまま塗布、滴下あるいは2~10倍(耳科の場合、時にグリセリン、アルコールで希釈する)希釈して洗浄、噴霧、含嗽に用いる。
- 3) 口腔 口腔粘膜の消毒、齦窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄には原液又は2倍希釈して洗浄・拭掃する。口内炎の洗口には10倍希釈して洗口する。

【使用上の注意】

- (1)重要な基本的注意 長期間又は広範囲に使用しないこと。
- (2)副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
  - 1) 重大な副作用  
空気塞栓：空気塞栓を起こすことがあるので、循環動態に異常を認めた場合など空気塞栓が疑われる症状がみられた場合には、速やかに本剤の使用を中止し、適切な処置を行うこと。
  - 2) その他の副作用

種類\頻度	頻度不明
口 腔	連用により口腔粘膜を刺激することがある。

(3)適用上の注意

- 1) 外用にのみ使用し、内服しないこと。
  - 2) 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
  - 3) 易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用する場合よりも低濃度とする事が望ましい。
  - 4) 深い創傷に使用する場合は希釈液としては注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
- (4)その他  
長期大量経口投与によりマウスの十二指腸に腫瘍の発生が認められたとの報告がある。

【薬効薬理】

使用濃度において栄養型細菌に有効であるが、その作用は緩和で持続性がない。発泡による機械的清浄化作用がある。



キャップ:PP  
容器:PE  
外装フィルム:PE

使用期限：

製造番号：

外皮用殺菌消毒剤

日本標準商品分類番号 872614  
承認番号 16000AMZ04472000  
薬価収載 1950.10  
販売開始 1949.8  
再評価結果公表 1983.4

〈調剤包装単位コード〉



(01)04987429910171

〈販売包装単位コード〉



(01)14987429010175